中学生3人が1日税務署長

１２月５日、香北中学校３年生の３人が、南国税務署で１日税務署長を務めました。

中学生の『税についての作文』で高松国税局長賞を受賞した上西香菜子さん、南国税務署長賞を受賞した双子の小松莉穂さん、真穂さんは、署長訓示として受賞作文を朗読し、納税貯蓄組合連合会役員や税務署幹部職員と名刺交換を行い、署長の仕事を務めました。

▲写真左から上西香菜子さん、小松莉穂さん、小松真穂さん

大盛況、演劇公演

１２月８日、中央公民館で令和元年度まちづくり応援基金事業**『第2回演劇公演』**が開催されました。

演目は手塚治虫さん原作の『雨ふり小僧』で、役者さんの透き通ったきれいな声がホールに響き渡り、その演技力に目を奪われました。演劇後のカーテンコールでは盛大な拍手が沸き起こりました。

観客の方からは「おもしろく心にささる、考えさせられる良い演劇でした」という感想をいただきました。

高齢者 叙勲

令和元年９月１日に発表された、高齢者叙勲の市内受章者を紹介します。

瑞宝単光章（消防功労）

西村（にしむら）　透（とおる）さん（８８歳）

西村　透さん（土佐山田町）は、昭和28年４月に旧明治村消防団に入団。平成３年３月に退団されるまで38年の長きにわたり地域のため消防団活動に従事されました。

昭和47年７月５日、集中豪雨による土佐山田町繁藤追廻山の山崩れをはじめ数々の災害に対し被害の軽減に貢献。

また、平成元年４月１日から山田消防組合土佐山田消防団明治分団長に就任、長年の豊富な経験と卓越した技術、指導力で団員の指導教育および、地域の防災力向上に尽力されたことにより、令和元年９月１日に本章を受章されました。

新春の思いを書に込めて

１月５日、中央公民館で、**第１４回香美市書初め大会**が開催され、早朝より市内外から９５人の参加者でにぎわいました。

幼児から大人まで幅広く参加があり、部門に応じて定められた「おとし玉」「春光万里」などの課題を、新しい年への願いを乗せ、力強く筆を走らせて書き上げました。

特選受賞者（敬称略）

北添桃（十津小１年）
美濃部さくら（十津小３年）
光明舞夏（楠目小３年）
小谷ひかり（山田小３年）
深見ゆら（十津小４年）
松木志衣（十津小４年）
北添蘭（十津小５年）
武内いぶき（舟入小５年）
横川葵泉（佐古小６年）
西村咲祐（三里中１年）
小谷真優（土佐塾中２年）
宮地明日香（鏡野中２年）
浜本那奈（附属中３年）
杉本佐喜美（一般）
大場真美（一般）
小松希代子（一般）
木下孝子（一般）
森本美紀（一般）
大家政子（一般）
小笠原恭子（一般）

人権の大切さ考えよう

１１月２３日、中央公民館で、**香美市じんけんフェスティバル**が開催されました。

これは、１２月４日～１０日の人権週間にちなみ、人権の大切さを考えることを目的に毎年開催されているものです。

当日は、小中学生の人権ポスター・毛筆・標語の表彰式、人権の花の贈呈式が行われました。また、『発達障害のピアニストからの手紙』と題して、野田恭子さんの講演、野田あすかさんのミニ演奏会を行い、来場した多くの方が熱心に聞き入っていました。

▲ピアノを演奏する野田あすかさん

9年ぶりに12万人入洞

１２月２１日、龍河洞で**龍河洞Candle Night ２０１９**が開催されました。洞内外は色とりどりのキャンドルで彩られ、『SNS映え』するスポットが盛りだくさんで、来洞者は楽しそうに写真を撮っていました。

また、昨年の夏にニューオープンした龍河洞は、年間入洞者数が９年ぶりに１２万人を超え、１月から１２月までに１２６,６９０人が入洞しました。

香美市在住の方は入洞の際、住所の記載された身分証明書を提示いただくと、令和３年３月末までの期間限定で入洞料が半額になります。同伴の市外在住者も10人まで半額の６００円で、小中学生は３５０円です。夜間営業は別料金です。